

経営理念

当金庫が明治35年5月の創立以来、一貫して目指してきたものは「地域に密着し、地域の皆さまとともに地域社会の発展と繁栄のために貢献し、地域の皆さまに信頼される結城信用金庫」であります。

地域のお客さま一人ひとりと結城信用金庫そして金庫役職員が相互扶助の精神で“ここをひとつ”にして、地域の皆さまにきめ細かなサービスを提供することを考え日常業務に励んでおります。

【基本方針】

地域金融機関である事を誇りとし、真に愛され信頼される金庫となり
地域産業の振興に貢献します。

金融業務の公共性を自覚し、常に研鑽を積み堅実なる経営を以て
信用の維持に努めます。

金庫の繁栄と共に役職員の生活向上を図り、
安定にして幸福なる職場たらしめます。

経営方針

社会・経済システムの転換期を迎え、金融機関を取り巻く環境も大きく変化しており、「経営の健全性の維持・向上」および「お客さま満足度の向上」の両立が最も重要な経営課題となっております。

当金庫は、役職員一人ひとりが地域社会の一員であることを認識し、地域社会の持続的発展に向けて、自己の果たすべき役割を全うしてまいります。

そして、地域に根ざした「ユーシン」として、地域の皆さまとともに地域社会のさらなる発展を目指してまいります。

金融機関の経営はいたずらに業容の拡大に走ることなく、
量と質のバランスを考慮し常に健全経営に徹します。

資産の健全性確保と信頼の向上に努めます。

収益体質の強化とリスク管理の徹底に努めます。

社会的資産である人材の育成に努めます。

事業方針

当金庫は、地域金融機関として「地方創生」への積極的な関与と中長期的に持続可能なビジネスモデルの構築をすることが喫緊の課題です。当金庫が地域社会の発展に貢献していくためには、お客さまとのFace to Faceによる対話を重視した信頼関係を築き、小口先数主義という当金庫の原点に帰った施策に取り組むことで、地方創生・中小企業支援とともに収益基盤の安定を図っていく必要があります。お客さまとの対話により取引先の資金状況と商流（商いの流れ）をよく理解し定性情報を蓄積することにより「事業性評価に基づく融資」や、お客さまの売上増加などの企業価値向上に向けた「本業支援」に継続的に取り組んでまいります。

平成 28 年度は、3 年計画「ユーシン「スクラム強化」2015」の中心年度であり、長期計画で取り組むべき課題としたコンプライアンス態勢の強化および営業基盤の強化に取り組んでまいりました。